
平成24年3月期 決算説明会

平成24年 5月15日

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

目次

I**平成24年3月期 実績****II****主要施策の状況****III****平成25年3月期 見通し**

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

I . 平成24年3月期 実績

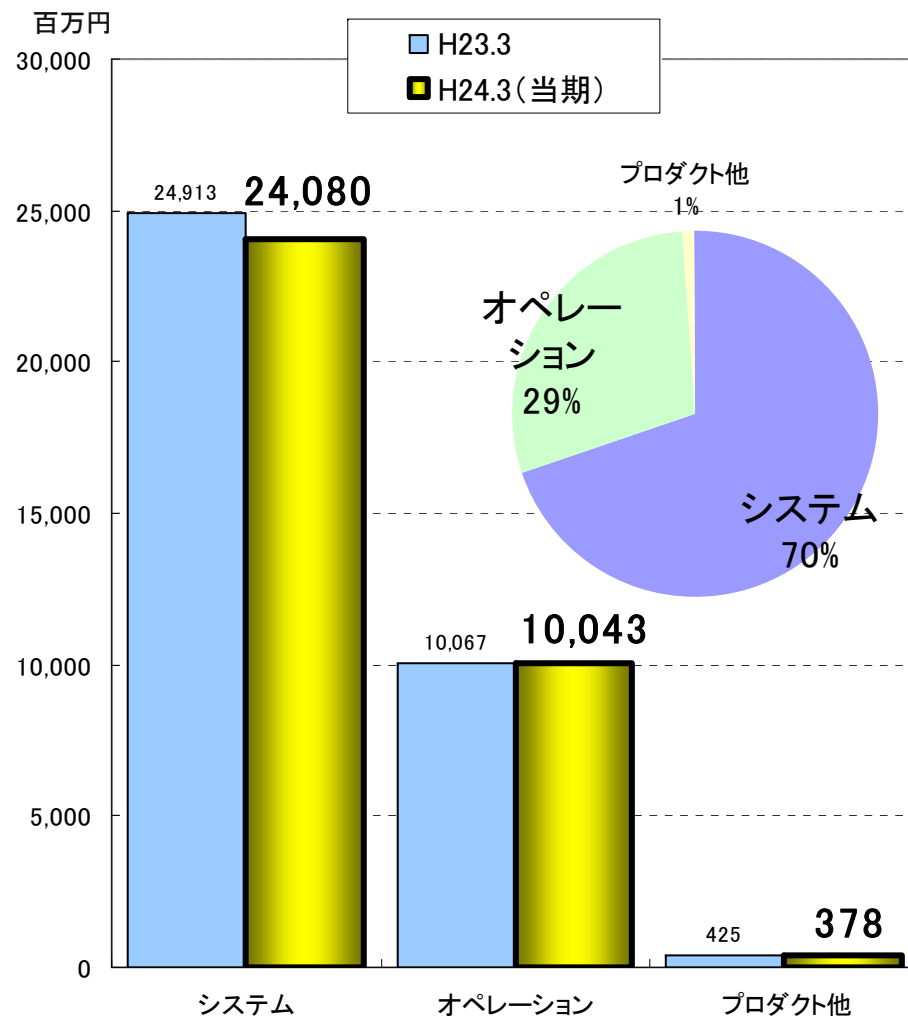
単体・業績実績 (平成24年3月期)

(単位：百万円、%)

	金額	売上比	前期比		当初予想比	
売上高	34,502	—	97.4%	−904	95.3%	−1,697
売上総利益	5,727	16.6%	121.8%	+1,023	106.1%	+321
販管費	3,020	8.8%	99.8%	−6	94.4%	−179
営業利益	2,707	7.8%	161.4%	+1,029	123.1%	+507
経常利益	2,882	8.4%	154.8%	+1,020	122.6%	+532
当期純利益	1,595	4.6%	173.2%	+674	118.2%	+245

単体・売上高・品目別 (平成24年3月期)

既存顧客の幅だしと新規顧客開拓による売上が増加
但し、前期の金融大型案件の影響を補うには至らず



システム (前期比 96.7%)

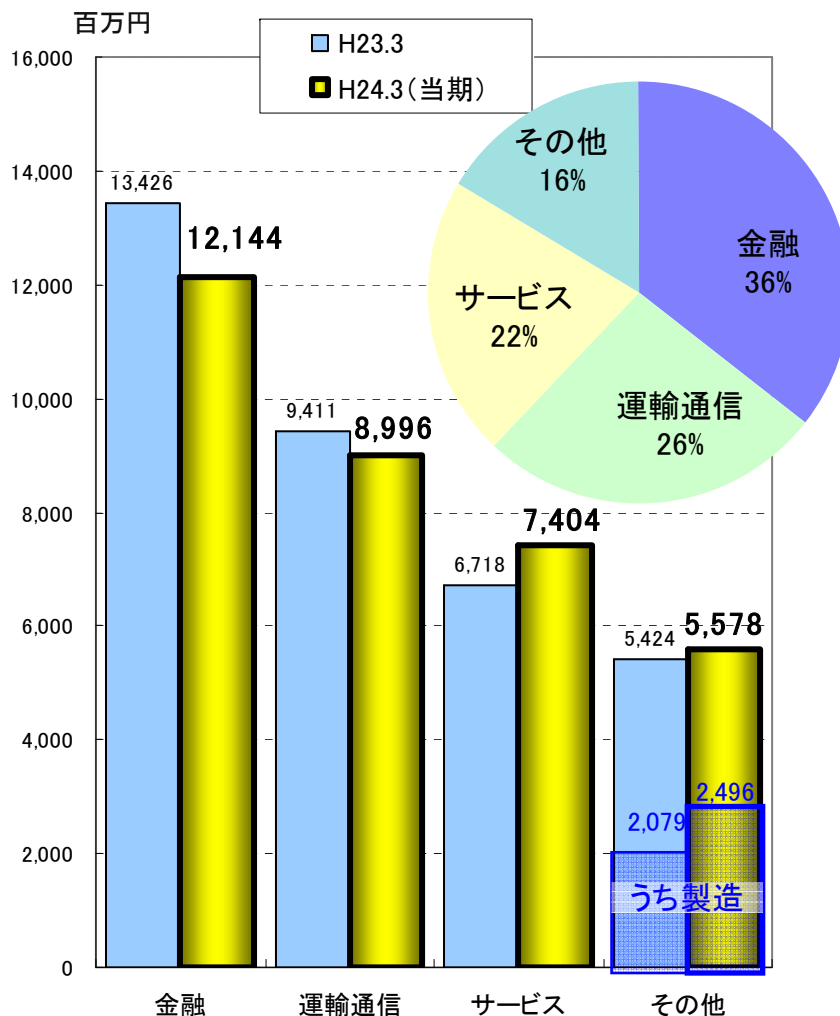
- ・金融、運輸等の既存顧客におけるシステム開発案件や製造、卸売小売等の新規ERP案件が増加
- ・前期の金融大型案件がピークアウトしたことにより全体では減少

オペレーション (前期比 99.8%)

- ・運用コスト削減への動きが一巡、新たな運用案件の獲得により前期並みを維持

単体・売上高・エンドユーザ業種別 (平成24年3月期)

金融は大型案件減少も既存顧客拡大と新規顧客獲得、サービス・製造は新規獲得で売上増



金融業 (前期比 90.5%)

- ・前期の大型案件の影響で減少
- ・メガバンク営業店案件や統合案件は増加
- ・証券はAMO案件の新規獲得によりストック増加

運輸通信業 (前期比 95.6%)

- ・運輸や移動体通信関連が増加
- ・営業フロント案件は減少

サービス業 (前期比 110.2%)

- ・広告やアミューズメント関連などの幅広い顧客で増加

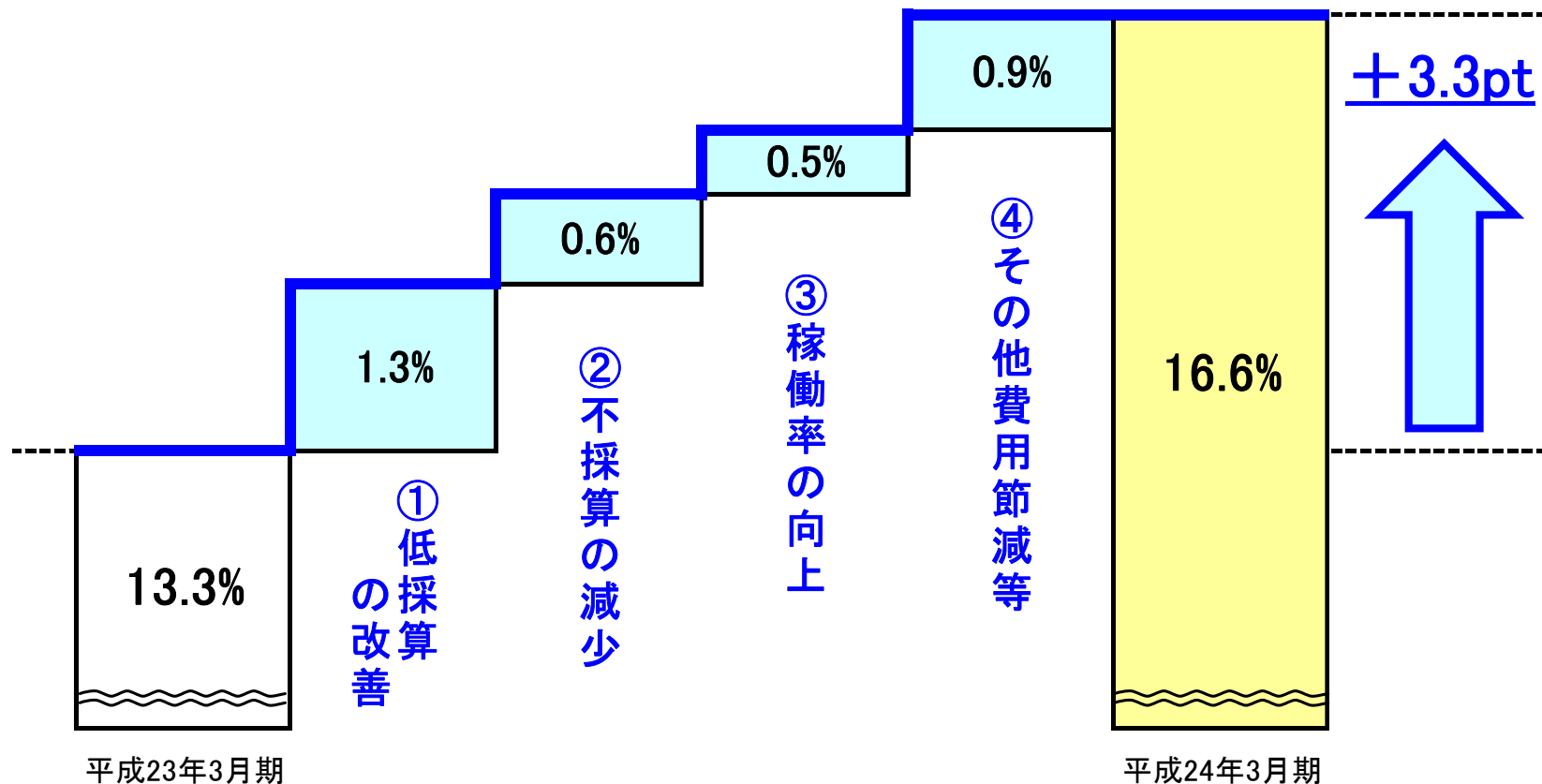
その他 (前期比 102.8%)

- ・製造はERP系等が増加
- ・卸小売は増加、公共は減少

(システムおよびオペレーション品目についての分析)

単体・売上総利益(平成24年3月期)

①低採算の改善、②不採算の減少、③稼働率の向上等により売上総利益利率が改善



単体・営業利益、経常利益 (平成24年3月期)

中期計画に基づき戦略的な支出を実施
各種経費削減の積極的な取り組みにより、販管費は減少

販管費 3,020百万円(前期比99.8%、売上比8.8% (前期比+0.3pt))

戦略的費用の増加(新規事業創出、営業体制・経営インフラ強化等) +107百万円
経費削減の取組み等による減少 -113百万円

営業利益 2,707百万円(前期比161.4%、売上比7.8%(前期比+3.1pt))

経常利益 2,882百万円(前期比154.8%、売上比8.4%(前期比+3.1pt))

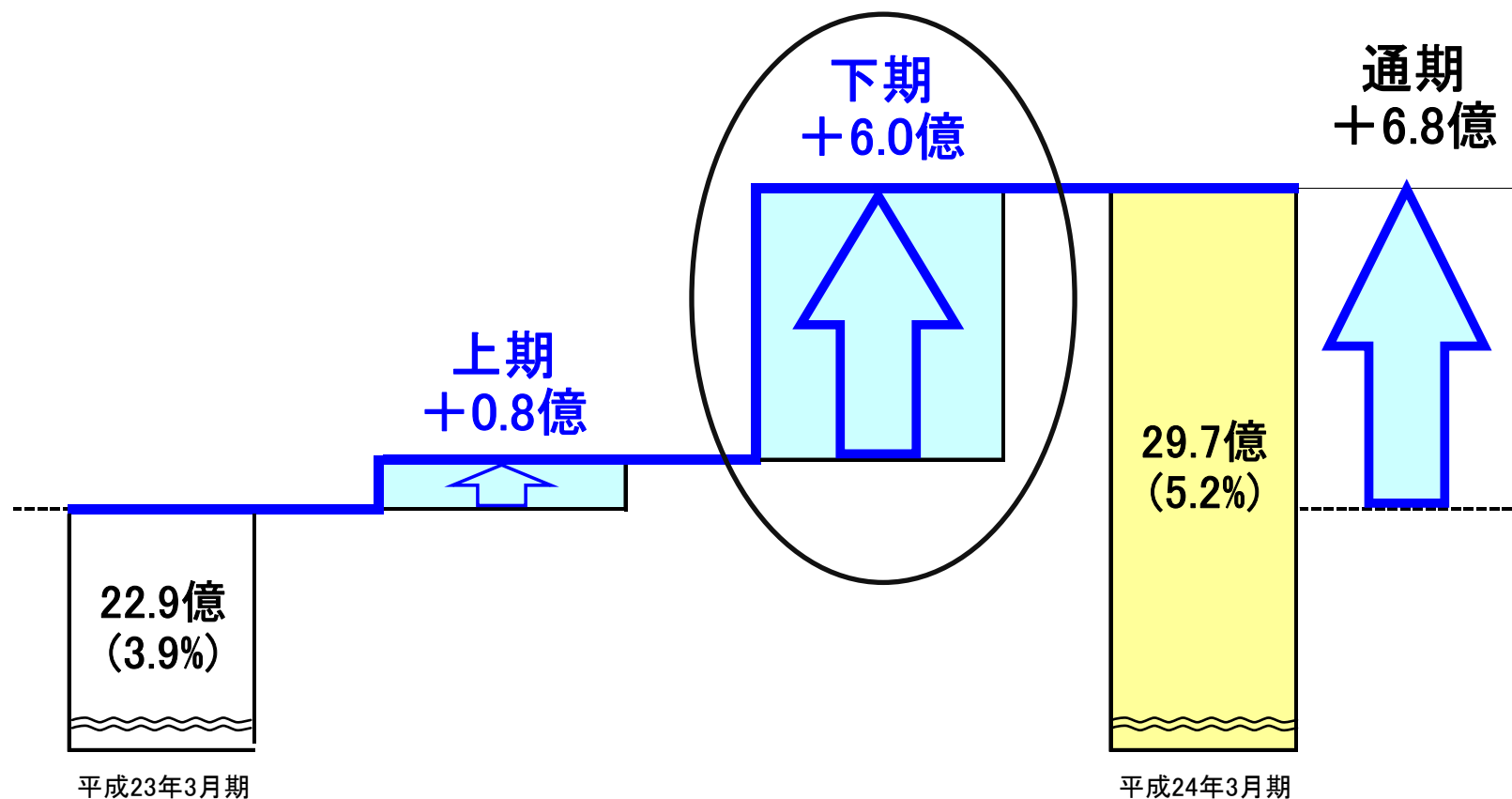
連結・業績実績 (平成24年3月期)

システム開発および物販領域の売上減が全体に影響

	金額	売上比	前期比		当初予想比	
売上高	57,385	—	98.1%	-1,118	94.9%	-3,114
売上総利益	8,611	15.0%	107.3%	+ 588	94.6%	-488
販管費	5,637	9.8%	98.5%	- 88	93.2%	-412
営業利益	2,973	5.2%	129.5%	+ 677	97.5%	-76
経常利益	3,069	5.3%	123.4%	+ 581	99.0%	-30
当期純利益	1,555	2.7%	138.3%	+ 430	97.2%	-44

連結・営業利益(平成24年3月期)

下期の単体利益率向上、グループ会社の不採算縮小により増益を達成



グループ各社・業績実績

(平成24年3月期)

(単位：百万円、%)

社名	売上高			営業利益			
	金額	前年同期比	計画比	金額	売上比	前年同期比	計画比
データリンクス	7,971	97.8%	97.7%	215	2.7%	91.9%	86.0%
デジタルテクノロジー	5,608	89.4%	87.9%	25	0.5%	117.4%	17.8%
FAITEC	5,483	111.6%	101.6%	103	1.9%	21.1%	99.6%
日本SE	4,027	87.5%	98.0%	167	4.2%	49.4%	90.9%
九州DTS	1,336	135.5%	106.1%	45	3.4%	258.1%	107.0%
総合システムサービス	1,013	101.9%	94.5%	-111	-	[+ 20]	[- 43]
MIRUCA	385	99.2%	95.2%	3	1.0%	35.1%	48.8%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。
 []は、当期金額－前期金額

Ⅱ. 主要施策の状況

主要施策

1. 営業力の強化
2. SI力の強化
3. 新規事業・グローバル展開の強化
4. 経営基盤の確立
5. グループ総合力の強化

主要施策①『営業力の強化』

H24.3期 営業統括部を新設し、営業プロセスの可視化
 および標準化を推進

営業プロセス
 可視化・標準化

- ・「営業標準プロセスマニュアル」の整備
- ・営業支援システム(SFA)に営業標準プロセスを取込み営業情報を共有化

既存顧客の更なる
 深耕と裾野拡大

- ・顧客満足度の調査対象を拡大し、顧客ニーズの把握および営業活動を強化
- ・取引先数の増加
 ⇒取引先:385社(+44社)

H25.
3期

・提案型営業を積極的に展開し、ストックビジネスの
 拡大を図る

主要施策②『SI力の強化』

H24.3期 ・プロジェクトマネジメントの見える化を推進
 ・現場力向上委員会立上げ

PM力
向上

- ・プロジェクト計画書の標準化を図り、見える化を推進
- ・経営による定期的なモニタリングの徹底により、問題プロジェクトの早期発見/対策を実施

現場力
向上

- ・現状の課題/問題点の把握と経営への提言を目的に、4つの分科会(技術, 維持管理プロセス, 生産性/品質向上, コミュニケーション)で活動展開中

**H25.
3期**

・上記活動の推進により、計画力のレベルアップ、PM力のさらなる向上を図る

主要施策③『新規事業・グローバル展開の強化』

H24.3期 ・アライアンスの積極活用により新規ソリューションを創出
 ・製造/金融/建設においてグローバル事業拡大

新規ソリューション 創出	<ul style="list-style-type: none"> ・BIツール: 『DaTaStudio Finder』 『BI NavigationStudio』 ・節電対策: 『Smart Lighting Controller』 ・セキュリティ: 『EAGISCORP for Let's note』
グローバル 事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・中国: 現地製造業開発案件、日系金融運用案件などで拡大 ・ベトナム: 日系建設業BPO案件(CAD系) ・シンガポール: 日系金融業データセンタ案件 ・米国: 現地法人を設立、日系金融業開発案件に着手

H25.3期 ・スピーディな事業化に向けた積極的な投資を推進
 ・グローバルビジネス基盤確立に向け海外拠点拡大

主要施策④『経営基盤の確立』

H24.3期・人事制度改革、次期社内システム構築を推進

人事制度 人材育成

- ・『役割』と『成果』に見合った処遇により、社員に自律的な変革を促す人事制度を構築
- ・高度スキル人材の育成推進(社内認定、外部資格)
※外部資格取得率:242.3% 前期比+12.2pt

次期 社内システムの 構築

- ・プロジェクトマネジメントシステムおよび新人事制度に対応した人事システムを構築
- ・顧客管理・案件管理システムなど営業・開発プロセスの高度化を実現するためのシステム構築に着手

H25.
3期

・拡大成長を図るため、社内情報システムの拡充を図り引き続き経営基盤の強化に取り組む

主要施策⑤『グループ総合力の強化』

H24.3期 ・グループ各社の強みを生かした共同受注の拡大
 ・グループガバナンス/SI力の強化

共同受注
 グループ
 営業力強化

- ・生損保、共済系で共同開発
- ・インフラ・ハード面での相互シナジー
- ・銀行ニアショア案件などでグループ共同受注
 ⇒更なるグループ連携促進のためグループ営業力強化会議を設置

グループ
 ガバナンス/
 SI力の強化

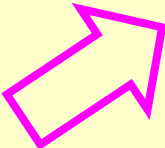
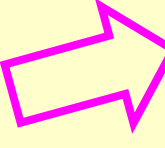
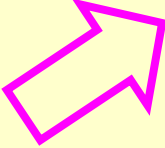
- ・グループ全体でのリスク/コスト管理
 ⇒重要案件や各社情報の早期把握のためグループSI力強化会議を設置し、プロジェクト状況モニタリング、アクションを実施

**H25.
 3期**

・グループ各社の事業構造改革による収益性の改善を図る

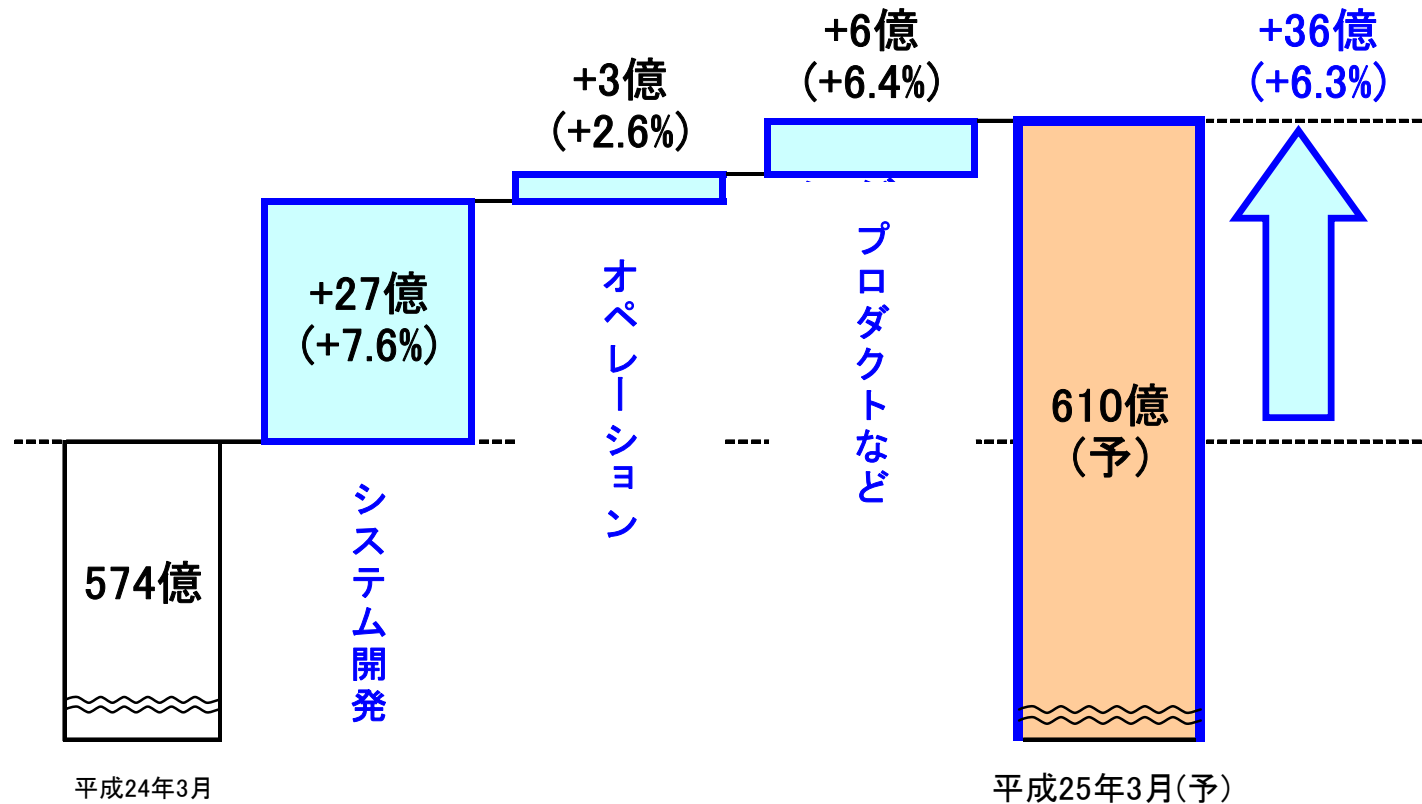
Ⅲ. 平成25年3月期 見通し

事業環境の見通し(平成25年3月期)

業種	トピックス	市場動向
金融	<ul style="list-style-type: none"> ・大型案件は検討段階から本格開発着手へ ・決済系、情報系、海外系は案件具体化 ・統合案件は引き続き投資旺盛 ・生損保、その他信託等も堅調な動き 	
運輸通信	<ul style="list-style-type: none"> ・移動体通信は、スマートフォン関連で引き続き投資旺盛 ・運輸も、堅調に推移 	
サービス その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ERP系(製造、卸小売等)や組込系(製造)は引き続き投資旺盛。公共系は新規領域に注力 	

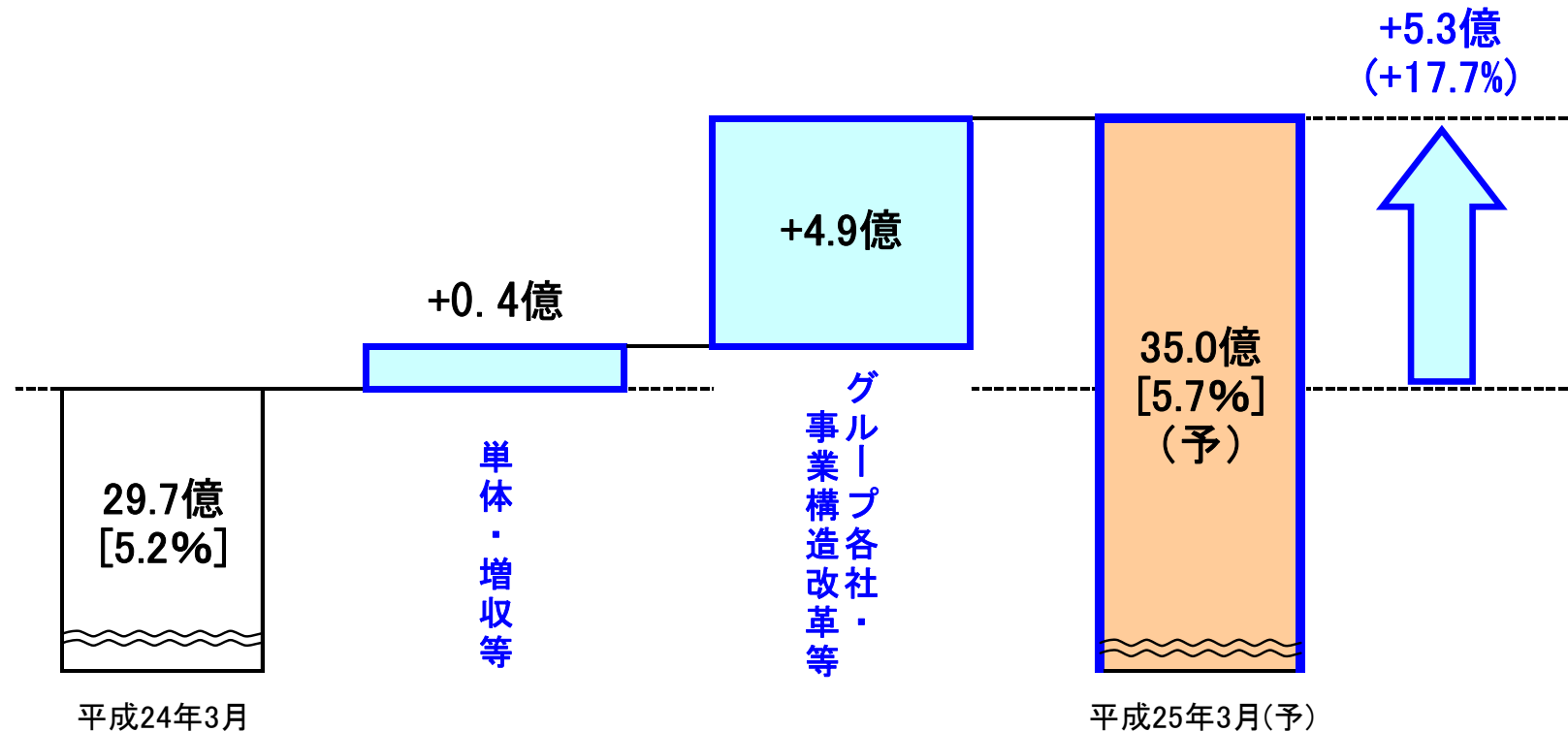
売上高の見通し(連結) (平成25年3月期)

金融を中心にシステム開発が牽引、オペレーションは引き続き堅調。プロダクトは営業強化により増収を見込む



営業利益の見通し(連結) (平成25年3月期)

グループ各社の事業構造改革等により増益を見込む



単体・連結 通期業績予想 (平成25年3月期)

(単位：百万円、%)

	単体				連結			
	金額	売上比率	前年同期比		金額	売上比率	前年同期比	
売上高	36,900	-	107.0%	+2,397	61,000	-	106.3%	+3,614
売上総利益	5,950	16.1%	103.9%	+222	9,300	15.2%	108.0%	+688
販管費	3,200	8.7%	105.9%	+179	5,800	9.5%	102.9%	+162
営業利益	2,750	7.5%	101.6%	+42	3,500	5.7%	117.7%	+526
経常利益	2,900	7.9%	100.6%	+17	3,550	5.8%	115.7%	+480
当期純利益	1,650	4.5%	103.4%	+54	1,800	3.0%	115.7%	+244

単体・連結 上期業績予想 (平成25年3月期)

(単位：百万円、%)

	単体				連結			
	金額	売上比率	前年同期比		金額	売上比率	前年同期比	
売上高	17,300	-	102.7%	+451	29,700	-	105.3%	+1,499
売上総利益	2,450	14.2%	92.7%	-191	4,100	13.8%	104.6%	+180
販管費	1,600	9.2%	103.4%	+52	2,950	9.9%	101.6%	+45
営業利益	850	4.9%	77.7%	-244	1,150	3.9%	113.3%	+134
経常利益	900	5.2%	73.2%	-329	1,200	4.0%	112.4%	+132
当期純利益	500	2.9%	62.3%	-302	600	2.0%	117.7%	+90

参考)グループ各社 通期計画 (平成25年3月期)

(単位：百万円、%)

社名	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	売上比	前期比
データリンクス	8,039	100.9%	223	2.8%	103.5%
デジタルテクノロジー	6,830	121.8%	196	2.9%	778.3%
FAITEC	5,500	100.3%	510	9.3%	494.1%
日本SE	4,168	103.5%	266	6.4%	159.4%
九州DTS	1,350	101.0%	69	5.1%	140.6%
総合システムサービス	1,040	102.6%	31	3.0%	[+ 142]
MIRUCA	400	103.7%	16	4.0%	416.1%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額－前期金額

配当

前期末配当は、当初予定どおり一株当り30円予定。
 当期は、一株当り30円、配当性向39.6%を見込む

	第2 四半期末	期末	年間	配当性向 (連結)
平成24年 3月期	15円	(予)15円	(予)30円	(予)45.9%
平成25年 3月期	(予)15円	(予)15円	(予)30円	(予)39.6%

平成24年3月期
決算説明会

ご清聴ありがとうございました

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>